

K J 法マニユアル

～ 目次 ～

作業手順の概要	2
段階 1 . テーマに関するラベルづくり	3
段階 2 . ラベルの意味の確認	4
段階 3 . (1)小グループ化と表札づくり	5
(2)中グループ化	5
段階 4 . 図解	7

沖縄大学
吉川研究室

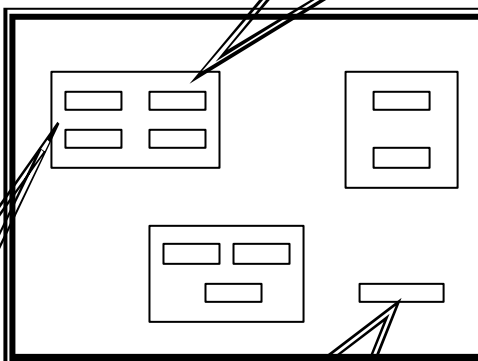
KJ 法 作業手順の概要

? する	内容	ポイント
段階 1 <input type="checkbox"/>	テーマに関するラベルづくり (情報の言語化)	事実に基づいて、具体的に記入する。 ・ 1枚のラベルに1つの情報を記入すること。 ・ 1人、4～5枚ほどつくる。
段階 2 <input type="checkbox"/>	ラベルの意味の確認 (情報の共有化)	記入したラベルをかるたのように広げ、グループ全員で1枚1枚の意味を確認する。
このステップが大切！徹底して話し合おう！十分時間をかける事！		
段階 3 (1) [小グループ] <input type="checkbox"/>	小グループ化と表札づくり (抽象化、第1段階)	内容が近いと感じられるラベルを寄せ集め、小グループをつくる。 ・ それぞれの小グループのカードを読み返し、その小グループ全体の意味を「表札」(以下、「小タイトル」と表記)として要約する。 ・ どのグループにも属さないラベルはそのままにしておく。
(2) [中グループ] <input type="checkbox"/>	中グループ化 (抽象化、第2段階)	小グループの表札を1枚のラベルとみなす。 ・ 表札と小グループ化できなかった1枚もの(一匹狼)のラベルを読み返し、再度意味の近いと思われるものを集め、中グループをつくる。 ・ 小グループと同様に表札(以下、「中タイトル」と表記)をつくる。
段階 4 <input type="checkbox"/>	図解 (構造化)	1枚の大きな紙に、中グループ、小グループの意味や関連性による位置関係がよく分かるようにラベルを配置していく。(先ず配置してみる。その後、ストーリーが完成してから貼り付ける。) ・ 各グループの表札やラベル(一匹狼)をよく読み、理解した上で、中グループから配置していく。 ・ 各グループやラベル(一匹狼)に、原因・結果の関係があるときは「 」, 相互に影響を及ぼし合っているときは「 」で結ぶ。 ・ ストーリーを完成させる。
段階 5 <input type="checkbox"/>	まとめ	全員で図解を見ながら、グループやラベルの重要度を考える。 重要度の高いグループやラベルにはマークをつけてわかりやすくし、テーマに対する結論をつくる。
レポート提出 <input type="checkbox"/>	レポート (文章化)	図解を見ながら、ストーリーを文章にする。(KJ法の作業手順を書くのではない。)

各ステップの作業を終えたらチェックボックス にチェック? をしてください。

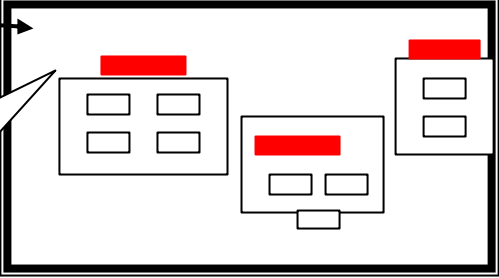
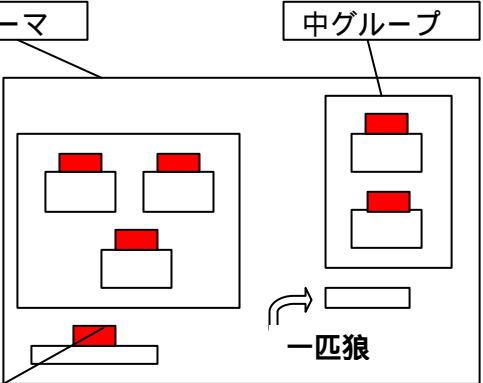
段階 2 . ラベルの意味の確認
(ステップ 2 - ~)

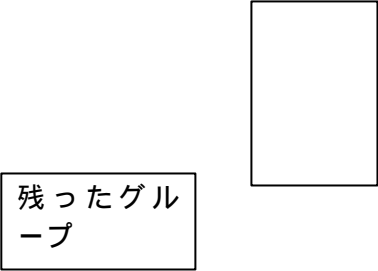
ラベルの意味が事実を表す表現となっているか、抽象的でないか、1枚1枚確認し、グループ全員が共通の認識を持つ。そして、共通の意味の物をグルーピングする。

ステップ	内 容	ポ イ ン ト
2 -	<p>リーダーが、各ラベルを1枚ずつ読みながら書いてある意味を、全員で確認する。</p> <p>リーダーが読む。 書いた本人が説明する。 説明内容がラベルに書いてある内容から読みとれるか、皆で確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p>このステップが大切！ 徹底して話し合おう！ 十分時間をかける事！</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 模造紙の中央に鉛筆で土俵を書き、1枚ずつその中に貼り直してからよく見える様にして読むと良い。 • 説明内容と文章の表現が違ったり、意味が明確に表現されていない時はリーダーが適切な表現に書き直して並べる。(書いた本人に書き直してもらうのもよい) • 修正は赤マジック(中)で行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> • 書いてある内容の是非を論じない事。みんなが出された内容について共通の認識が得られるかどうかを論ずる。 • 事実に基づいた表現になっているか確認する。過去、現在に起っている事実を表現しているかどうかを認識する。書いた人が内容を説明する事がよい。 • この過程を経る事により出されたラベルの内容が全員の物となるので十分時間をかける事。 </div>
2 -	<p>似ているものを集め小グループを作る。(親近性を重視する)</p> <p>内容でグルーピングする事。</p> <p>使われている言葉や単語にとらわれない事。</p>	<p>全員で行う。 (分業化の原則)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p>小グループは内容が近いものを集める。</p>  <p>2 ~ 3 枚以下が適切、5枚以上をまとめない事。</p> <p>似た内容が無く、1枚になった「一匹狼」のラベルは無視せず必ず残す。</p> </div>
2 -	<p>テーマから見て抜けている所はないか確認し、もしあれば追加する。</p>	<p>リーダーがテーマを読み上げた後、全員で抜けている所がないかを短時間で話し合う。</p>

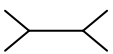

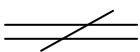
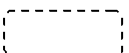



段階3 . 小グループ化と表札づくり
(ステップ3 (1)、(2))

グルーピングしたラベルの内容をピタリと表す表札を作り、次に中グループを作る。
その後、テーマの内容を考えながらストーリーが繋がるよう空間配置をする。

ステップ	内 容	ポ イ ン ト
3 - (1)	<p>それぞれの小グループにタイトル（表札 1 行見出し）をつける。小タイトルはラベルに赤マジックで書き、それぞれのグループの上に置く。 分業で行う事。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>小タイトルはグルーピングしたラベルが訴えようとする内容をピタリと表す具体的な文章で書く。 目次的、寸足らず、足し算、読み過ぎを避ける。</p> </div> <p>具体的な文章で。 共通のものを抜き出す。 ・・・物（事）の本質をつかみだす。 抽象のハシゴを 1 段高める。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>テーマ</p>  <p>小タイトルは赤マジックを用い、文章で書く。</p> </div> <p><u>例、ラベル</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">花子は太郎の家によく訪ねて行く。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">太郎と花子はよく喫茶店で会って話しをしている。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>花子が入院すると太郎は毎日見舞いに行った。</p> </div> <p><u>例</u></p> <ul style="list-style-type: none"> × 目的 的：太郎と花子の関係 寸足らず：太郎と花子は中がいい × 足し算：2人は互いに家を訪ねたり、喫茶店で会って話をしたり、入院したら見舞いに行ったりしている。 × 読み過ぎ：太郎と花子は結婚する。 <p><u>良い例</u> 太郎と花子はいつも一緒にいたい仲である。</p>
3 - (2)	<p>テーマの内容を考えながら、近い内容のグループを近くに集め、中グループを作る。 中グループは5つくらいにする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>中グループ テーマ 中グループ</p>  <p>意味の近い小グループや一匹狼を集めて作る</p> <p>残ったグループ 一匹狼</p> </div>

-	<p>中グループのタイトルは、ラベルに青マジック（中）で書き、それぞれのグループの上に置く。 分業で行う事。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中グループ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中タイトルのラベル</div> </div> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <p style="text-align: center;">中タイトルの作り方は小タイトルと同じ考え方で行う</p>
---	----------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

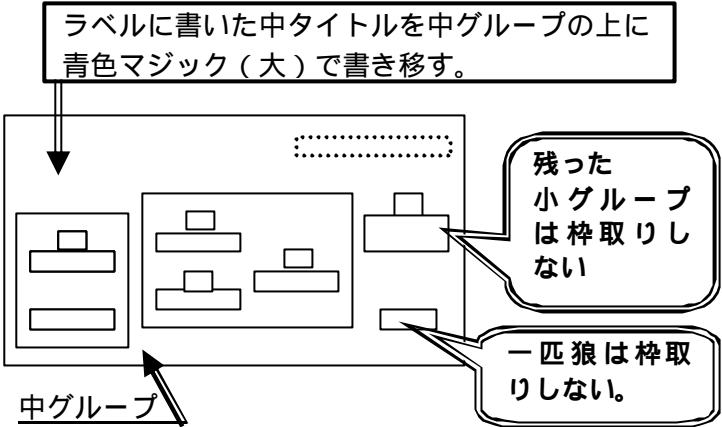
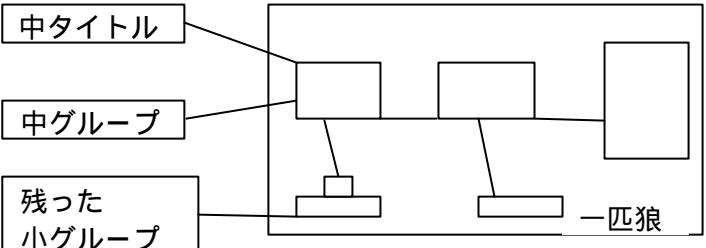
関連づける記号のいろいろ（段階４．の参考）

—	関係あり
—	生起の順、因果関係、上部構造から下部構造へ、またはその逆 包括的なものから細部へ、またはその逆
—	相互に因果的となる
=	相互に因果的となる
	互いに反対
	関係が切れた
=	同じ
	同じでない
	必要なのに欠けている事柄
	（図解でなく、語句的に関係があるとき使う）
	ゆえに
	なぜならば

段階4 . 図解の完成 (ステップ4 - ~)

空間配置した中グループをテーマと対比し、中タイトルを明確にし、中グループの間に矢印などをマジックで書き、討議内容の図解を完成させる。

ステップ	内 容	ポ イ ン ト
4 -	<p>各、中グループがストーリーで繋がるように空間配置する。</p> <p>各、グループをいろいろ動かして一応、納得のいく配置をする。その配置を追手ストーリーとして順に読み上げてみる。何度か納得のいくまで並べ換える。</p> <div data-bbox="248 797 647 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 配置が決まったら 中グループを鉛筆で囲む </div>	<div data-bbox="687 416 1477 1025"> </div>
4 -	<p>中グループ(残った小グループや、一匹狼を含む)の間に鉛筆で矢印をつけて討議内容のストーリーをつくる。</p> <div data-bbox="280 1424 823 1473" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 鉛筆で矢印を入れてストーリーをつくる </div>	<div data-bbox="687 1066 1477 1473"> </div>
4 -	<p>ラベルをその場所に貼る。(ただし、中タイトルを書いたラベルは貼らずにその場所に置いておく。)</p>	<p>全員が作業机に集まり共同作業しよう！！</p>
4 -	<p>小グループを黒マジック(大)で囲む。タイトルのラベルの中央から線を出す事。(囲まない)</p>	<div data-bbox="687 1693 1477 2047"> </div>

<p>4 -</p>	<p>中グループを緑マジック（大）で囲む。 次にラベルに書いた中タイトルを中グループの上にマジックで書き込む。</p>	<p>ラベルに書いた中タイトルを中グループの上に青色マジック（大）で書き移す。</p>  <p>中グループ</p> <p>残った小グループは枠取りしない</p> <p>一匹狼は枠取りしない。</p> <p>中グループを囲む線は緑色マジック（大）で、中タイトルは青色マジック（大）で書く。</p>
<p>4 -</p>	<p>中グループ（残った小グループや一匹狼を含む）の間に赤マジック（大）で矢印を書く。</p>	<p>深い関係の所は太い線で、浅い関係の所は細い線で書く等工夫すると見やすくなる。</p>  <p>中タイトル</p> <p>中グループ</p> <p>残った小グループ</p> <p>一匹狼</p>